

創業支援等事業計画機能強化事業

令和8年度 起業家教育プログラム実施支援 説明資料

あなたの学校に起業家教育（アントレプレナーシップ教育）を

令和7年10月

独立行政法人 中小企業基盤整備機構
創業・スタートアップ支援部

※本資料の内容は、一部変更となる可能性があります。
※各校における来年度（令和8年度）の授業・学校行事等計画との整合性を図るため、今般のご案内となっておりますが、
本事業の関連予算成立は令和8年3月頃を予定しており、来年度の本事業実施の確定はその後となります。

1. 起業家教育(アントレプレナーシップ教育)の意義

地域課題や社会課題が顕在化する現代において、若い世代から、起業家精神を育み、主体性、創造性、分析力、コミュニケーション力など「これからの時代で生きる力」を身につけることが重要とされています。また、大学のAO入試における主体性評価でも、このような点が重視される傾向があると言われています。

文部科学省では、「アントレプレナーシップ(起業家精神)」を「新たな価値を生み出していく精神」と捉え、自ら社会課題を見つけ、課題解決にチャレンジし、他者と協働しながら解決策を探究することができる知識・能力・態度を身に付ける教育をアントレプレナーシップ教育(起業家教育)と位置付けています。

アントレプレナーシップは、起業に限らず、民間企業や行政など、あらゆる領域で必要な考え方であり、経済産業省、独立行政法人中小企業基盤整備機構においても全国に醸成すべく強力に推進しているところです。

2. 起業家教育プログラム実施支援の概要

本事業は、高等学校等において担当教員の方が、中小機構が提供する『起業家教育標準的カリキュラム』を活用しつつ、起業家教育の授業を実施することを支援するものです。

提 供 内 容	目 的	対 象	実 施 期 間
◆『起業家教育標準的カリキュラム』(…*)導入と実施のためのサポート ◆起業家教育を実施する他校との接点、生徒同士のコミュニティ形成、社会との接点の提供	◆高校生が自ら社会課題を見つけ、その課題解決に挑戦し、他と協働しながら解決策を探求することができる知識・能力・態度を身につけること ◆起業家教育に取り組む高等学校等の拡大	◆『起業家教育標準的カリキュラム』を導入し起業家教育に取り組む高等学校等 *高等学校等：学校教育法第一条で規定する、高等学校、高等専門学校（1～3年生）、中等教育学校（後期中等教育段階）、特別支援学校（高等部） *既存の起業家教育プログラムの更新も含む	令和 8 年 4 月 ▼ 令和 9 年 2 月 (予定)

*「起業家教育標準的カリキュラム(改定版)」(中小機構)

https://entrepreneur.smrj.go.jp/related/education/standard_curriculum_manual.pdf

3. 起業家教育プログラム実施支援の内容

総合的な学習の時間（探求）、各科目、課外活動、AO入試対策等として新たに起業家教育プログラムを導入しようとする高等学校等を対象とし、中小機構がプログラムの企画や実施フォローアップ等の様々なサポートを実施します。

授業実施のサポート

実施支援校の教員・生徒が簡単に相談できる体制を確保し、授業前後でのフォローを提供するほか、授業カリキュラムの趣旨に沿った起業家・外部講師を紹介

- ① 授業カリキュラムの作成
- ② オンラインツールで教員・学生からの相談に回答
- ③ 外部講師の派遣(2-4回)やインタビュー先企業の紹介

社会との接点づくり

ビジネスプラン発表の機会を提供・起業家との接点づくり・インキュベーション施設等との連携をサポートし、カリキュラム実施後の教育効果の維持・発展を支援

- ① 成果発表会を開催
- ② 起業家と学生の交流の場を提供
- ③ インキュベーション施設等の紹介

その他

授業カリキュラムの好事例としての広報等により、実施支援校の起業家教育への取り組みを広く周知するサポートを提供

- ① 好事例としての広報支援
- ② 起業家教育導入事例集への掲載
- ③ その他起業家教育導入に関する全般をサポート

4. 起業家教育プログラム実施支援の参加校に取り組んで頂くこと

総合的な学習の時間（探求）、各科目、課外活動、AO入試対策等として、プログラムを実施していただきます。

担 当 教 員

- ① 5～30時間程度を活用し、標準カリキュラムを使用した起業家教育を実施
- ② 起業家教育の進捗状況の共有
- ③ 参加校同士の意見交換や成果発表の場への参加
- ④ カリキュラムに対するご意見、フィードバック
- ⑤ 中小機構から依頼するアンケート調査への協力（教員向け・生徒向け）

など

参 加 生 徒

- ① 起業家教育（授業）への参加、ビジネスプラン作成
- ② 参加校同士の意見交換や成果発表の場への参加
- ③ 中小機構が依頼するアンケート調査への回答（プログラム実施前/実施後）

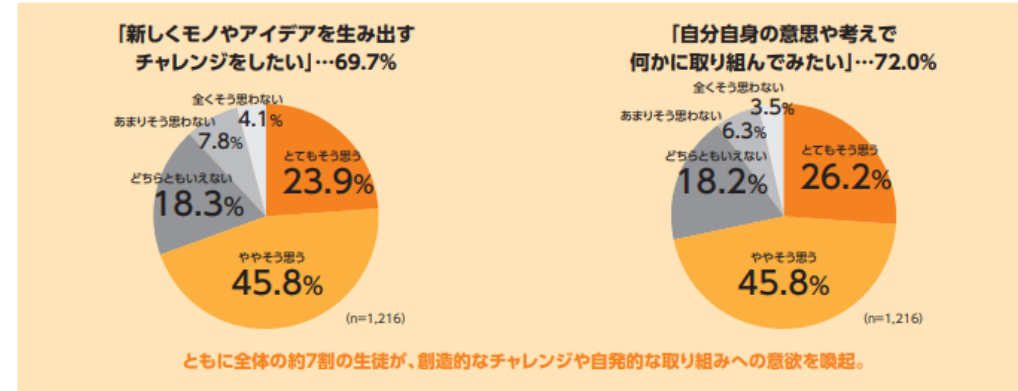
など

5. 【参考】活用事例

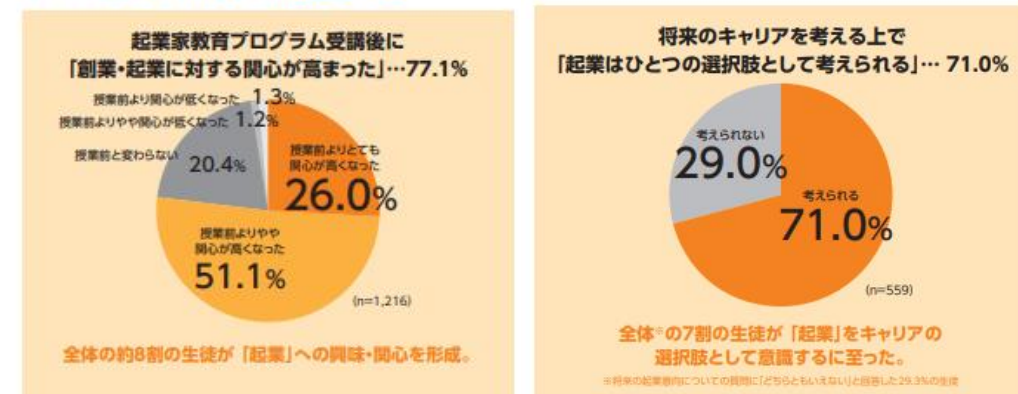
起業家教育プログラムカリキュラム（標準カリキュラム導入時間数:19時間）

時間数	日程	標準カリキュラムの活用*	実施テーマ/授業項目	外部講師の活用
1~4	5月~6月	起業に係る情報のインプット及び起業家との交流 ①講義「高校生が起業家教育を受ける意義」など ビジネスアイデアの立案・改善 ③講義「ブレインストーミングのやり方」 ④講義「先行事例調査の実施方法」 ⑤講義「アイデアの実現性と魅力を高める」 ⑥講義「主なターゲットについて考える」	・アントレプレナーシップとは何か、現代社会でアントレプレナーシップが必要な理由を理解し、起業家教育の意義を学ぶ。 ・ビジネスプランを考えるための手法としてブレインストーミングの方法を知り、チームでアイデア出しを行う。 ・ビジネスプランの実現性と魅力度を高めるために必要な観点を学び、チームでブラッシュアップする。 ・ビジネスプランのペルソナを考える。	
5~8	6月~7月	起業に係る情報のインプット及び起業家との交流 ①講義「高校生が起業家教育を受ける意義」など ビジネスアイデアの立案・改善 ②講義「ビジネスモデルとは」	・起業家から起業やビジネスに関する体験談を聞き、起業意欲を醸成するとともに、自身のキャリアについて考える機会とする。 ※外部講師①の活用 ・ビジネスモデルとは何かを学び、ビジネスを実現するために必要な要素を検討し、ビジネスプランを作成する。	外部講師① 株式会社スチームシップ 代表取締役 藤山 雷太氏
9~12	9月~10月	中間発表資料の作成・中間発表・振り返り ④講義「プレゼンとは」 プレゼン資料の作成 ⑧中間発表	・プレゼンテーションについて学び、中間発表に向けて発表資料を準備する。 ※外部講師②の活用 ・チーム内で役割を分担し、中間発表を実施する。 ・[ビジネスB-ME2024ビジネスプランコンテスト]に出場し、優秀賞を受賞。	外部講師② 株式会社PLUS-Y 代表取締役 永田 洋子氏
13~16	12月~1月	ビジネスアイデアの立案・改善 ③講義「ブレインストーミングのやり方」 ④講義「先行事例調査の実施方法」 ⑤講義「アイデアの実現性と魅力を高める」 ⑥講義「主なターゲットについて考える」 ⑦講義「ビジネスモデル」とは	・ビジネスプランを考えるための手法としてブレインストーミングの方法を知り、チームでアイデア出しを行う。 ・ビジネスプランの実現性と魅力度を高めるために必要な観点を学び、チームでブラッシュアップする。 ・ビジネスプランのペルソナを考える。 ・ビジネスモデルとは何かを学び、ビジネスを実現するために必要な要素を検討し、ビジネスプランを作成する。※外部講師③の活用	外部講師③ 株式会社ソラサード 代表取締役社長 牛来 千鶴氏
17~18	2月	最終発表資料の作成・練習・最終発表 ⑨講義「ビジネスピッチとは」 最終発表資料の作成	・最終発表会に向けた準備を進める。 ・ビジネスピッチの特徴を知り、どのような発表をするのが効果的かをチームで検討する。 ※外部講師④の活用	外部講師④ 株式会社PLUS-Y 代表取締役 永田 洋子氏
19	3月	最終発表資料の作成・練習・最終発表 ⑩講義「発表の練習方法」 発表の練習 ⑩最終発表	・チームごとに最終発表資料を作成する。 ・これまでの学びの集大成として、各チームがビジネスプランを発表する。	

■アントレプレナーシップ(起業家精神)に関する意識調査



■起業に対する関心や意向について



支援事例集は、
こちらのQR
コードからご覧
頂けます

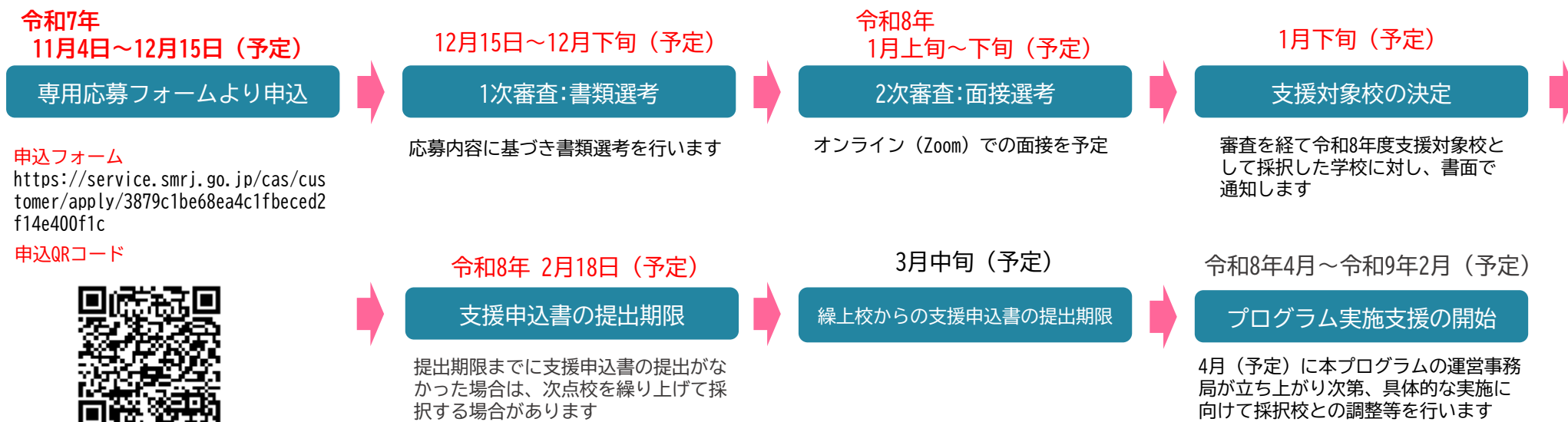


支援事例集(R6年度)



支援事例集(R5年度)

6. 起業家教育プログラム実施支援のスケジュール(予定)



■ 注意事項

- ① 起業家教育プログラム実施支援の利用（教員や生徒の相談対応に係る費用、中小機構が各校へ派遣する外部講師・起業家等に支払う交通費や謝金等）についての費用は掛かりません。ただし、個別相談や意見交換会・ワークショップ・フィールドワーク等に参加いただく際に必要となる通信費・交通費等については自己負担となります。
- ② 応募内容に基づき、審査のうえ実施対象校を決定いたします。なお、過去に本事業を実施した高等学校等の応募も可能ですが、新規応募校が優先となりますので予めご了承ください。
- ③ 本事業は単年度（令和8年度）の支援事業ですが、支援終了後も継続して起業家教育を実施する意向があること、また、支援終了後の2年間、起業家教育に関する取り組み状況についての事後報告にご協力いただくことが必要です。
- ④ その他、申込みにあたってご不明な点やプログラム内容等についてのご質問等は、最終項の連絡先までお問い合わせください。
- ⑤ 各校における来年度（令和8年度）の授業・学校行事等計画との整合を図るため今般のご案内となっておりますが、本事業の関連予算成立は令和8年3月頃を予定しており、来年度の本事業実施の確定は、その後となります。

7.

【参考】過去の参加校一覧

令和4年度		実施校名	都道府県
	1	青森山田高等学校	青森
	2	芝浦工業大学附属中学高等学校	東京
	3	福井県立坂井高等学校	福井
	4	北海道留辺蘂高等学校	北海道
令和5年度		実施校名	都道府県
	1	桜花学園高等学校	愛知
	2	北九州市立高等学校	福岡
	3	熊本マリスト学園中学校高等学校	熊本
	4	佐野日本大学高等学校	栃木
	5	静岡北高等学校	静岡
	6	奈良県立商業高等学校	奈良
	7	福井県立鯖江高等学校	福井
	8	福島県立福島商業高等学校	福島
	9	三重県立四日市商業高等学校	三重
	10	宮城県農業高等学校	宮城
令和6年度		実施校名	都道府県
	1	青森県立大湊高等学校	青森
	2	石川県立金沢二水高等学校	石川
	3	桜花学園高等学校	愛知
	4	英心高等学校桔梗が丘校	三重
	5	愛媛県立今治東中等教育学校	愛媛
	6	大阪府立豊中高等学校能勢分校	大阪
	7	海星高等学校	長崎
	8	関西学院高等部	兵庫
	9	甲南高等学校	兵庫
	10	埼玉栄中学・高等学校	埼玉
	11	静岡女子高等学校	静岡
	12	長崎総合科学大学附属高等学校	長崎
	13	函館工業高等専門学校	北海道
	14	兵庫県立武庫荘総合高等学校	兵庫
	15	兵庫県立和田山高等学校	兵庫
	16	英数学館高等学校	広島
	17	福井県立福井商業高等学校	福井
	18	旭川実業高等学校	北海道
	19	山口県立西京高等学校	山口
	20	早稲田佐賀高等学校	佐賀

令和7年度		実施校名	都道府県
	1	学校法人田中学園 水戸葵陵高校	茨城
	2	成城学園高等学校	東京
	3	桜丘中学・高等学校	東京
	4	東京農業大学第二高等学校	群馬
	5	茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校	茨城
	6	大手前高松中学・高等学校	香川
	7	山口県立光高等学校	山口
	8	常翔啓光学園高等学校	大阪
	9	高知県立大方高等学校	高知
	10	学校法人川島学園鹿児島実業高等学校	鹿児島
	11	静岡大成高等学校	静岡
	12	法政大学国際高等学校	神奈川
	13	城南静岡高等学校	静岡
	14	弓削商船高等専門学校	愛媛
	15	学校法人藤園学園 龍谷富山高等学校	富山
	16	愛知県立犬山総合高等学校	愛知
	17	鳥取県立鳥取商業高等学校	鳥取
	18	兵庫県立淡路三原高等学校	兵庫
	19	立花学園高等学校	神奈川
	20	宇都宮海星学園 星の杜高等学校	栃木
	21	成田高等学校	千葉
	22	武蔵越生高等学校	埼玉
	23	兵庫県立小野高等学校	兵庫
	24	福島東稜高等学校	福島
	25	山脇学園中学校高等学校	東京
	26	兵庫県立豊岡総合高等学校	兵庫
	27	津山工業高等専門学校	岡山
	28	宮崎県立都城商業高等学校	宮崎
	29	東京電機大学中学校・高等学校	東京
	30	神奈川大学附属中・高等学校	神奈川
	31	宮城県工業高等学校	宮城
	32	甲府市立甲府商業高等学校	山梨
	33	沖縄県立那覇商業高等学校	沖縄
	34	長崎県立長崎北高等学校	長崎

8. 起業家教育プログラム実施支援 ▶▶▶ お問い合わせ先

その他、申込みにあたってご不明な点やご相談は、下記へお問い合わせください。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構（中小機構）
創業・スタートアップ支援部 創業・スタートアップ支援企画課
（担当：水岡、佐々木）

〒105-8453
東京都港区虎ノ門3-5-1 虎ノ門37森ビル

Tel : 03-5470-1645
Mail : kigyorider@smrj.go.jp